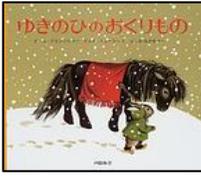
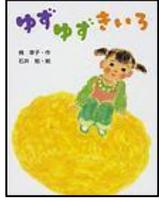


しょうがっこうていがくねん《1・2年生》のみなさんへ

冬休みおすすめ本リスト

登別市立図書館 [2013年版]

	しよめい さくしやめい しゅっぱんしゃ	ないよう		しよめい さくしやめい しゅっぱんしゃ	ないよう
えほん	<p>「えりまきの花」</p>  <p>中島 和子 作 いもと ようこ 絵 ひかりのくに</p>	<p>ゆきがっせんをしているうちに、たっちゃんのエリまきがなくなりました。ゆきの上には小さなあしあと。たっちゃんが、あしあとをつけていくと、そこには…。</p>	としよ	<p>「こうさぎのあいうえお」</p>  <p>森山 京 作 大社 玲子 絵 小峰書店</p>	<p>おかあさんに字をおしえてもらったこうさぎ。こぎつねとこりすも、いっしょに字をべんきょうします。けんかをしたり、くろねこのどろぼうと出くわしたり、いろいろなことをたいけんして、3びきはだんだんと字をおぼえていって…。</p>
えほん	<p>「きつねのでんわボックス」</p>  <p>戸田 和代 作 たかす かずみ 絵 金の星社</p>	<p>ぼうやがうれしいと、かあさんはいつもうれしいの…。子ぎつねをなくしたかあさんぎつねが、ひそかにおもいをよせたのは、かわいらしいにんげんの男の子でした。</p>	としよ	<p>「そらいろマフラー」</p>  <p>北川 チハル 作 河原 まり子 絵 岩崎書店</p>	<p>小学二年生のナナは、まいばんいもうとのノンちゃんをお風呂に入れてあげます。ノンちゃんはしょうがいをもっていて、ことばがしゃべれないけど、うれしそうです。そのノンちゃんがある日…。</p>
えほん	<p>「としよかんねずみ」</p>  <p>ダニエル・カーク 作 瑞雲舎</p>	<p>サムはとしよかんにすむネズミです。とにかく本をよむのが大好き。いろいろな本をたくさんよんで、とうとうすばらしいことをおもいつきました。「じぶんで本をかいてみよう!」サムはよるのうちに、じぶんの本をとしよかんのたなにならべて…。</p>	としよ	<p>「もりのほんやさん」</p>  <p>舟崎 靖子 作 舟崎 和彦 絵 借成社</p>	<p>ほんやのやぎさんは、みせばんをしながら本をよんでいて、むちゅうになると、ページをむしゃむしゃたべてしまうせがあります。ある日、はりねずみさんが、『めいたんてい わにさん』という本をかうと、さいごのページがなくなっているではありませんか!</p>
えほん	<p>「むかしむかしとらとねこは…」</p>  <p>ちゆうごく 中国のむかし話より 大島 英太郎 文・絵 福音館書店</p>	<p>むかし、とらはのろまで、えものをとるのがへたでした。そこでとらは、ねこからじょうずにえものをとるほうほうを、おしえてもらいます。ねこがしているすべてのわざを、みにつけたとらは、さいごにしりたいことがあると…。</p>	としよ	<p>「ゆきのかたち」</p>  <p>高橋 健司 監修 片野 隆司 写真 ひさかたチャイルド</p>	<p>だれがつくったの？キツネ、かぜ、それとも…？いちめんふりつもったゆき。でもよく見るともようがついていたり、ふしぎなかたちをしていたり。しぜんがつくったさまざまなゆきのかたちをしょうかいするしゃしんえほんです。</p>
えほん	<p>「ゆきのひのおくりもの」</p>  <p>ポール・フランソワ 作 ゲルダ・ミュラー 絵 パロル舎</p>	<p>ゆきの日にはうさぎは、にんじんを2本みつけました。1本だけたべたこうさぎは「こうまくんもたべものがなくてこまっているにちがいない。このにんじんをとどけてあげよう」と、こうまくんのうちにいそぎます。すると…。</p>	としよ	<p>「ゆずゆずきいろ」</p>  <p>楠 章子 作 伊東 寛 絵 講談社</p>	<p>ぼくはお風呂が大きらいだ。でもあるよる…。かあさんはいつも、お風呂にはいりなさいっていう。めんどうくさくて、いやだなあ、とおもっていたけどたまには、おもしろいこともあるみたいだよ。</p>